

# 農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

女性農業者による自主的な防護柵の維持管理、緩衝帯の整備、放任果樹の伐採等の生息環境改善の取組のほか、鳥獣被害防止技術を学ぶために展示圃場を設置するとともに、栽培した野菜を販売して得た収益の一部を活動経費として還元し、対策の効果を見える化。

## うたいと しゅうらく ちょうじゅう ひがい たいさく けんきゅうかい 歌系集落鳥獣被害対策研究会

うめだ しげみ  
（代表：梅田 繁美）

のべおかし  
宮崎県延岡市

### 主な取組

- 平成19年頃からイノシシ、シカ、サルによる被害が拡大。ネット柵を設置したが、被害対策の知識が十分ではなく、被害は防げなかった。
- 平成27年に宮崎県の鳥獣被害対策モデル集落到位置づけられ、普及センター職員や外部講師による研修会や集落点検活動を実施し、被害の要因や被害対策技術を住民同士が共有。
- 平成28年に被害対策に関心の高い7戸の女性農業者により歌系集落鳥獣被害対策研究会が発足。現地研修会の開催、集落点検活動の結果をもとに、農地周辺の林縁部の緩衝帯の整備、耕作放棄地の刈り払い、収穫しない果樹の伐採、防護柵の維持管理作業を実施。
- 平成29年に鳥獣被害防止技術を学ぶための展示圃場（2.5a）「すすめの学校」を設置し、そこで学んだ被害防止技術や栽培技術を各自のほ場で実践。また、無人販売所「すすめのお宿」を集落内に設置し、収穫した野菜を販売。売り上げの一部を活動費用に充て、地域へ還元。
- 研究会が核となり集落全体へ活動を波及させるとともに、地域の活性化に成功。

【延岡市北浦町歌系集落の水稻被害額】

被害面積 平成26年度：235 a → 平成30年度：49 a

被害金額 平成26年度：216万円 → 平成30年度：57万円